



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 スズデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7480 URL <http://www.suzuden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 篤史

問合せ先責任者 (役職名) iクリエイト部長 (氏名) 安岳 宗吉

TEL 03-5689-8001

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	36,609	22.0	1,170	101.1	1,377	78.5	912	86.4
29年3月期第3四半期	30,008	2.1	582	22.5	771	16.3	489	15.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 971百万円 (98.0%) 29年3月期第3四半期 490百万円 (12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	65.93	65.71
29年3月期第3四半期	33.51	33.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	29,109	16,254	55.8	1,173.46
29年3月期	28,120	15,899	56.5	1,149.47

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,251百万円 29年3月期 15,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		35.00	45.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				45.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当10円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(平成30年2月7日)公表いたしました「配当予想の修正(創業70周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	48,600	16.1	1,580	55.9	1,860	47.6	1,210	51.0
								87.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,652,600 株	29年3月期	15,152,600 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	803,513 株	29年3月期	1,324,266 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,837,359 株	29年3月期3Q	14,609,830 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）における当社グループを取り巻く景況は、海外においては、欧米の政治不安や中国経済の下振れ懸念、地政学的リスクが残るものの、緩やかな回復基調となりました。国内においては、企業収益の回復により堅調に推移いたしました。

当社グループの主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界では、国内における景気拡大や人手不足感の強まりを背景とした省力化・自動化ニーズの高まりにより、設備投資が増加し、売上高は全般的に順調に推移いたしました。また、半導体・液晶製造装置関連の主要顧客においては、半導体の積層化に伴う生産増が一層活発になり、売上高は好調に推移いたしました。

こうした環境のもと、当社グループは「ものづくりサポーターカンパニー」として、顧客ニーズに直結した営業活動と業務改善の推進による品質の更なる向上、商品安定供給のための在庫拡充等を継続してまいりました。また、メカトロ商材の拡販ならびにIoT関連市場・メディカル市場への注力に加え、新設のオートモティブ営業部を中心として自動車業界の深耕を図ってまいりました。また、ロボット販売営業所を新設し、ロボット関連商材の営業力強化を行ってまいりました。

以上の取組みにより収益の確保に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は366億9百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益は11億70百万円（前年同四半期比101.1%増）、経常利益は13億77百万円（前年同四半期比78.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億12百万円（前年同四半期比86.4%増）と前年同四半期に比べ増収増益となりました。

また、当社グループの商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

① FA機器分野

制御機器、センサー、制御盤等が増加し、売上高は212億31百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

② 情報・通信機器分野

OA機器、OAアクセサリ等が増加し、売上高は32億6百万円（前年同四半期比21.5%増）となりました。

③ 電子・デバイス機器分野

コネクタ全般、ノイズ対策商品等が増加し、売上高は40億61百万円（前年同四半期比31.5%増）となりました。

④ 電設資材分野

ケーブルアクセサリ、計測・測定器等が増加し、売上高は81億9百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億89百万円増加し、291億9百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億30百万円増加し、208億50百万円となりました。

これは主に、電子記録債権の増加5億65百万円、有価証券の増加9億99百万円、商品の増加5億46百万円、現金及び預金の減少11億74百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて41百万円減少し、82億58百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて6億34百万円増加し、128億54百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7億22百万円増加し、97億29百万円となりました。

これは主に、電子記録債務の増加10億38百万円、支払手形及び買掛金の減少3億73百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少し、31億25百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少1億5百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3億55百万円増加し、162億54百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上9億12百万円、未払配当金の支払6億28百万円によるものであります。なお、自己資本比率は55.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から1億74百万円減少し、29億92百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は4億38百万円の増加となりました。(前年同四半期における資金は2億54百万円の減少)

これは主に、税金等調整前四半期純利益13億77百万円、仕入債務の増加6億64百万円の増加要因、売上債権の増加10億31百万円、法人税等の支払額6億9百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は77百万円の減少となりました。(前年同四半期における資金は5億89百万円の減少)

これは主に、有形固定資産の取得による支出19百万円、無形固定資産の取得による支出27百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は5億37百万円の減少となりました。(前年同四半期における資金は1億98百万円の減少)

これは主に、長期借入れによる収入10億円、長期借入金の返済による支出8億87百万円、配当金の支払額6億28百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期公表時点では、当社グループの主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界における設備投資が不透明であり、かつ、一部商材における納期遅延発生の影響が懸念されました。

平成30年3月期第3四半期におきましては、人手不足を背景とした省力化・効率化投資が増加したこと、従来から好調であった半導体製造装置関連の主要顧客の生産増により、売上高は順調に推移いたしました。

平成30年3月期第4四半期以降におきましても、当社グループの主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界では、省力化・効率化投資の積み増しにより設備投資が引き続き堅調に推移するものと見込まれ、また、半導体製造装置関連の主要顧客への売上高も半導体の微細化を中心とした投資が継続し順調に推移する見通しであることから、平成30年3月期通期の業績予想については、平成29年11月7日に公表した連結業績予想および平成29年5月9日に公表した個別業績予想を修正いたします。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,188,689	2,013,900
受取手形及び売掛金	11,693,066	12,162,980
電子記録債権	1,978,529	2,543,954
有価証券	-	999,994
商品	2,338,351	2,885,153
その他	625,678	247,748
貸倒引当金	△4,067	△2,907
流動資産合計	19,820,247	20,850,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,440,737	3,314,123
土地	3,911,613	3,911,613
その他(純額)	148,587	117,015
有形固定資産合計	7,500,937	7,342,752
無形固定資産	91,440	94,887
投資その他の資産		
その他	736,042	843,299
貸倒引当金	△28,382	△22,325
投資その他の資産合計	707,660	820,974
固定資産合計	8,300,038	8,258,614
資産合計	28,120,286	29,109,439
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,879,969	4,506,293
電子記録債務	1,884,042	2,922,821
短期借入金	1,071,962	1,289,794
未払法人税等	404,679	180,050
賞与引当金	234,075	178,506
役員賞与引当金	70,000	94,125
その他	462,757	557,961
流動負債合計	9,007,484	9,729,551
固定負債		
長期借入金	1,972,510	1,867,282
役員株式給付引当金	7,614	16,643
退職給付に係る負債	1,068,204	1,071,953
その他	164,790	169,221
固定負債合計	3,213,120	3,125,101
負債合計	12,220,605	12,854,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,631,658	1,527,493
利益剰余金	13,482,387	13,439,392
自己株式	△1,136,947	△693,198
株主資本合計	15,796,329	16,092,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,676	131,694
為替換算調整勘定	20,604	23,586
退職給付に係る調整累計額	12,631	3,158
その他の包括利益累計額合計	98,912	158,438
新株予約権	4,439	3,430
純資産合計	15,899,681	16,254,786
負債純資産合計	28,120,286	29,109,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,008,598	36,609,692
売上原価	25,593,958	31,338,048
売上総利益	4,414,639	5,271,643
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	344,283	390,255
給料手当及び賞与	1,701,863	1,832,895
株式報酬費用	3,044	10,162
法定福利費	266,782	296,325
退職給付費用	151,020	102,986
賃借料	241,117	170,807
減価償却費	147,141	172,716
貸倒引当金繰入額	1,904	-
賞与引当金繰入額	125,779	186,515
役員賞与引当金繰入額	31,850	94,125
その他	817,498	844,021
販売費及び一般管理費合計	3,832,284	4,100,809
営業利益	582,354	1,170,834
営業外収益		
受取利息	1,406	851
受取配当金	4,888	10,806
仕入割引	165,661	195,230
為替差益	2,028	-
その他	54,405	40,318
営業外収益合計	228,389	247,206
営業外費用		
支払利息	7,693	9,376
手形売却損	8,721	7,819
売上割引	7,481	9,876
為替差損	-	531
減価償却費	12,366	11,144
その他	2,550	1,640
営業外費用合計	38,814	40,389
経常利益	771,930	1,377,650
特別利益		
固定資産売却益	34	-
特別利益合計	34	-
特別損失		
固定資産除却損	6,801	421
投資有価証券売却損	-	5
特別損失合計	6,801	427
税金等調整前四半期純利益	765,163	1,377,223
法人税、住民税及び事業税	244,827	412,120
法人税等調整額	30,787	52,807
法人税等合計	275,614	464,928
四半期純利益	489,549	912,295
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,549	912,295

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	489,549	912,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,401	66,018
為替換算調整勘定	△46,775	2,981
退職給付に係る調整額	25,674	△9,472
その他の包括利益合計	1,300	59,526
四半期包括利益	490,849	971,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490,849	971,822
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	765,163	1,377,223
減価償却費	159,507	183,860
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,775	△47,560
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,150	24,125
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,457	3,749
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,044	9,764
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,904	△7,216
受取利息及び受取配当金	△6,294	△11,657
支払利息	7,693	9,376
為替差損益(△は益)	△47	△10
有形固定資産除却損	6,801	421
売上債権の増減額(△は増加)	△1,650,097	△1,031,166
たな卸資産の増減額(△は増加)	△152,045	△545,369
仕入債務の増減額(△は減少)	942,280	664,634
その他	19,444	415,323
小計	3,971	1,045,498
利息及び配当金の受取額	6,430	11,764
利息の支払額	△7,685	△9,212
法人税等の支払額	△257,487	△609,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,770	438,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△566,701	△19,209
無形固定資産の取得による支出	△6,540	△27,920
有価証券の取得による支出	△1,000,000	-
有価証券の償還による収入	1,000,000	-
投資有価証券の取得による支出	△22,290	△32,119
投資有価証券の売却による収入	-	2,580
敷金及び保証金の差入による支出	△3,142	△3,129
敷金及び保証金の回収による収入	6,212	2,234
定期預金の払戻による収入	-	3,000
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
その他	6,217	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△589,244	△77,563
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△511,831	△887,396
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△34,071	△32,504
配当金の支払額	△658,518	△628,060
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,141	10,680
その他	-	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,280	△537,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,033	1,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,074,328	△174,794
現金及び現金同等物の期首残高	4,172,889	3,167,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,098,560	2,992,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月26日開催の取締役会決議に基づき、平成29年9月29日付で、自己株式500,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が101,087千円、利益剰余金が324,955千円、自己株式が426,043千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,527,493千円、利益剰余金が13,439,392千円、自己株式が693,198千円となっております。

3. その他

仕入及び販売の状況

(1)仕入実績

(単位：千円)

品目名	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
F A機器	19,216,547	28.5
情報・通信機器	2,761,118	20.8
電子・デバイス機器	3,463,521	35.7
電設資材	6,443,405	8.3
合計	31,884,592	23.8

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

(単位：千円)

品目名	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
F A機器	21,231,953	26.8
情報・通信機器	3,206,750	21.5
電子・デバイス機器	4,061,283	31.5
電設資材	8,109,704	7.7
合計	36,609,692	22.0

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。